

CBI若手研究者のための、夏のフロンティア探索シリーズ

科学技術の世界では、これまでのNano、バイオ、ITから量子情報計算、ポストゲノム医療、認知科学 Cognitive Science へと関心が広がっている。また、我が国では、大学や国の研究機関の独立法人化に伴いこれらの機関への国の予算配分方式が大きく変わりつつあり、各機関の生き残りを賭けた大競争時代がやってくると言われている。人材市場も Post Doc. を始めとする任期付きの研究職、専門職派遣が増え、流動化が著しく進んでいる。これらの変化の行き着くところは、科学技術の領域の拡大、研究技術職に求められる専門性の増大、職歴 (Carrier Path) の多様化である。ここにおいて拡大しつつある新しい分野にどう職を探るか、Career Upの機会をどう捉えるか、新しい研究分野に必要な知識技能は何かまたそれをどう獲得するかなどが大きな課題になっている。こうした変化は、とくに安定した職 (Position) がない若手研究者の職に対する意識の大改革を迫るものであり、それへの対応は焦眉の急だと言えよう。

CBI学会は、このような時代認識に基づいて、若手研究者、技術者の (1) 学ぶ機会と職の機会の探索、(2) 新しい研究領域としてとくに注目されている

Bioinformaticsを例とした、仕事の能力を身に着けるためのTutorial、(3)新しい分野の現状と展望という3つのテーマを、3日間の夏季特別研究集会シリーズとして企画した。この企画には、東京医科歯科大学田中博研究室、理化学研究所 (横浜研究所) ゲノム科学総合研究センターの小長谷明彦研究室の協力をえている。

研究技術職に限らないが、これからの社会においては、学校の卒業は最初の第1歩であり、専門知識と専門技能は働く場所を考えながら積み上げていく (Career Upしていく) ことにならざるをえないだろう。こうした時、なによりも頼りになるのは人のネットワークである。CBI学会は、こうしたネットワークを人材の育成と連携して構築することを、新たな社会的な使命ではないかと考えている。このシリーズは、そうした考えを実践に移す最初の試みであり、参加者にとって、有用な情報を入手すること、人と知り合うこと、新しい知識を獲得することに通じる得がたい機会となるだろう。全体に気軽な会なので、分野に捉われず「学ぶ機会と働く機会」に関心のある方は、ぜひ参加されたい。

- ・8月18日(水)13:10 - 17:40
人材育成シンポジウム「先端的学際領域の専門教育と仕事の機会」
日本化学会 化学会館7Fホール
- ・8月19日(木)13:10 - 17:40
Tutorial「Bio Pathway/Network入門」
理化学研究所 横浜研究所
- ・8月20日(金)13:10 - 17:30
CBI学会研究講演会「Omicsと大規模データの解析」
理化学研究所 横浜研究所

***** 2005年大会予告 *****

大会のテーマ: Chem-Bio Informatics in Post Genome Era

実行委員長: 小長谷明彦 (理化学研究所 ゲノム科学総合研究センター)

開催日時: 2005年 7月下旬(未定)

開催場所: 理化学研究所 ゲノム科学総合研究センター 交流棟ホール

基調講演およびポスターセッション

招待講演: 以下の分野ごとの招待講演を予定

- Computational Biology

- Bionetworks and Phenomics

- Immunoinformatics

共催: RIKEN Genomic Sciences Center (GSC)

International Immunomics Society (IIMMS)

Special Interest Group for Biomedical Knowledge

(SIGBMK, JSAI)

Initiative for Parallel Bioinformatics (IPAB)

「先端的学際領域の専門教育と仕事の機会」

開催趣旨:

最近IT, ゲノム、ナノなどの言葉が、先端的な技術分野として、マスメディアを賑わしている。この分野の専門家を志す学生や若手研究者も少なくない。こうした分野の専門性をどう身につけていくか、最初の仕事の口をどう探したらよいか、さらに任期付きの雇用条件の下で次の職をどう探すか、さらに一度就職しても自らの天職を求めてどう転職していくかなどについて、悩んでいる学生や若手研究者は少なくないであろう。CBI学会の人材育成事業の一環であるこのシンポジウムは、上記の分野の専門家、経験者をお招きして話しを聞くことにより、広く状況を把握しながら考える機会を提供することをめざしている。学生社会人を問わず、関心のある方々の参加を期待する。

日時：2004年8月18日(水)13:10 - 17:40

会場：日本化学会 化学会館7Fホール 東京都千代田区神田駿河台1-5

世話人：神沼二真(広島大学量子生命科学プロジェクト研究センター)、田中成典(神戸大学)

プログラム:

13:10 - 13:15 世話人挨拶：開催趣旨

13:15 - 14:00 . 計算化学とバイオインフォマティクスの専門教育プログラム

広島大学における『ナノテク・バイオ・IT融合教育プログラム』

相田美砂子(広島大学)

学ぶ機会の情報

小宮山直美(CBI学会事務局)

14:00 - 15:55 . どのような人材が求められているのか?

- 仕事の現状と今後の展望 -

新しい時代に皆で考えたいこと

田中成典(神戸大学)

研究者としての経験から

下川和郎(理化学研究所)

異分野から生命科学へ：計算化学と実験の融合に向けて

福井一彦(産業技術総合研究所 生命情報科学研究センター)

製薬企業における計算化学とバイオインフォマティクスへの期待

多田幸雄(大鵬薬品、CBI学会会長)、堀内 正(第一製薬)

16:10 - 17:05 . 就職、転職、天職

人材市場の流動化、雇用の変化について(仮題)

宇梶純良((株)スタッフジャパン)

私の経験から

太田篤胤(城西国際大学)

どこに職の情報があるのか?

小宮山直美(CBI学会事務局)

17:05 - 17:25 . 総合質疑、討論

情報交換懇親会(参加費無料)軽い飲み物を用意する予定。

参加費：CBI学会の会員は無料。その他は資料代を含め、1,000円。

出席を希望される方は事前に必ず事務局セミナー受付 seminar@cbi.or.jp に連絡してください。

連絡先：CBI学会事務局 セミナー受付

〒158-0097 東京都世田谷区用賀 4-3-16 イイダビル 301

TEL:03-5491-5423 FAX:03-5491-5462 E-mail:seminar@cbi.or.jp http://www.cbi.or.jp/

Tutorial 「Bio Pathway/Network 入門」

開催趣旨：

細胞における物質代謝、分子信号伝達、遺伝子制御という3つのPathway/Networkの解明は、ヒトゲノム解読計画後の生物学の重要目標としていわゆる-omics技術などを駆使して急ピッチで解明が進んでいる。それに伴い、それらのデータや知識を体系的に整理するPathway/Networkのデータベースづくりとそれに基づいた生体応答のモデルづくりが、バイオインフォマティクスの重要課題となった。ここで問題となるのは、そうしたデータベースやモデル開発の目的である。90年代の初めからPathway/Networkの重要性を指摘し、先駆的なシステムを紹介してきたCBI学会は、この2年ほど、Pathway/Network to Diseaseを標榜してシリーズで研究講演会を開催してきたが、我が国のこの分野の人材の薄さが大きな問題だと認識するに至った。この教育講演会は、この分野のシステム開発では世界的な先駆者である東京大学の高井貴子博士と東京医科歯科大学の田中博研究室、理研小長谷明彦研究室の協力を得て、この分野の戦力となりうる研究者育成を目指して企画した。バイオインフォマティクスのフロンティアに関心のある若手研究者多数の参加を期待する。

日時：2004年8月19日(木)13:10 - 17:40

会場：理化学研究所 横浜研究所 交流棟ホール

横浜市鶴見区末広町1丁目7番22号 <http://www.yokohama.riken.go.jp/j/access.html>

(鶴見駅東口よりバスで「理研・市大大学院前」下車、徒歩1分)

共催：人工知能学会 生命知識研究会(<http://www.sigmbi.org/>)

世話人：吉川澄美(理化学研究所) 湯川真澄(CBI学会事務局)

プログラム：

13:10 - 13:20 世話人挨拶

13:20 - 14:20 ヒトゲノム情報へのアクセス法

「ヒトゲノム情報へアクセスするためのブラウザについて」

田中義智(東京医科歯科大学)

「タンパク質相互作用データベースへアクセスするためのブラウザについて」

長谷武志(東京医科歯科大学)

14:20 - 14:30 休憩

14:30 - 16:00

「ゲノム研究におけるオントロジーの開発と利用」

高井貴子(東京大学理学部)

16:00 - 16:15 休憩

16:15 - 17:15 代謝経路の古典から現代まで：

「バイオインフォにおける代謝経路を含むネットワークの重要性」

長谷川義和(理化学研究所ゲノム情報科学研究グループ)

講演会参加費(8月19日、20日の2日通して)：

法人賛助会員：無料

個人会員(非営利)：無料 個人会員(一般企業)：¥5,000

ビジター(非営利)：¥1,000 ビジター(一般企業)：¥10,000

出席を希望される方は事前に必ず事務局セミナー受付seminar@cbi.or.jpに連絡してください。

連絡先：CBI学会事務局 セミナー受付

〒158-0097 東京都世田谷区用賀4-3-16 イイダビル301

TEL：03-5491-5423 FAX：03-5491-5462 E-mail：seminar@cbi.or.jp <http://www.cbi.or.jp/>

第 245 回 CBI 学会研究講演会
「Omics と大規模データの解析」

開催趣旨:

Omics とは、DNA チップ (Transcriptome の網羅的解析)、Proteomics、Metabolomics/Metabonomics、タンパク質相互作用などに代表される、ゲノム解析に関連した網羅的解析技術のことである。こうした技術の適用範囲は、拡大を続けながら、分子生物学の基礎から、毒性予測、医薬品開発、臨床におけるまで、もはや必須の技術になっている。しかし、これらの実験や試験から産生される膨大なデータの解析と解釈には、コンピュータの支援が不可欠である。こうした技法は一般にデータマイニングと呼ばれる。しかし従来のデータ解析の延長では極めて不十分であり、専門知識が深く解析に介在しなければならない。とくに注目されてきたのが C B I 学会が強調してきた Pathway/Network のような知識システムを動員することである。この講演会は、このような視点を加味して、さまざまな新しい分野で活躍されている講師をお招きするこの研究集会を企画した。前日 (8 月 1 9 日) に企画されている若手のための Tutorial とともに、製薬企業の若手研究者の参加を期待したい。

日時: 2004 年 8 月 20 日 (水) 13:10 - 17:40

場所: 理化学研究所 横浜研究所 交流棟ホール 横浜市鶴見区末広町 1 丁目 7 番 2 2 号
(鶴見駅東口よりバスで「理研・市大大学院前」下車、徒歩 1 分)

共催: 人工知能学会 生命知識研究会

世話人: 河合隆利 (エーザイ株式会社) 吉川澄美 (理化学研究所)

プログラム

1 . 13:20-14:00

基調講演「生命知識科学: 生命知識に基づく O M I C S の解明」

小長谷明彦 (理化学研究所ゲノム科学総合研究センター)

2 . 14:00-14:40

免疫情報学の立ち上げについて

Chris Schonbach (理化学研究所ゲノム科学総合研究センター)

3 . 15:00-15:40

「ベイジアンネットによるデータマイニングと確率推論 -- その基礎と事例紹介 --」

本村陽一 (産業技術総合研究所)

4 . 15:40-16:20

免疫・アレルギー科学総合研究センターの紹介

小原 収 (かずさ DNA 研究所、理化学研究所)

5 . 16:20-16:50

Pathway/Network 他関連の企業発表

6 . 16:50-17:10

" ゲノム医療情報シンポジウム : 2004 年 11 月 " (医療情報学会、CBI 学会共催) の御案内

中谷 純 (東京医科歯科大学情報医科学センター)

講演会参加費 (8 月 1 9 日、20 日の 2 日通して):

法人賛助会員: 無料

個人会員 (非営利): 無料

個人会員 (一般企業): ¥5,000

ビジター (非営利): ¥1,000

ビジター (一般企業): ¥10,000

出席を希望される方は事前に必ず事務局セミナー受付 seminar@cbi.or.jp に連絡してください。

連絡先: CBI 学会事務局 セミナー受付

〒 158-0097 東京都世田谷区用賀 4-3-16 イイダビル 301

TEL: 03-5491-5423

FAX: 03-5491-5462

E-mail: seminar@cbi.or.jp <http://www.cbi.or.jp/>